

平成27年度 徳島県立城北高等学校 学校評価 総括評価表7

重点課題	重点目標 全校レベル	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見
		評価指標と活動計画 評価指標	評価 評価指標による達成度	
運営組織の活性化と教職員研修の充実	7 学校の運営体制の充実 ・教職員一人ひとりが学校経営の当事者意識を持ち、課題解決のために組織的に取り組む。 ・研修体制の充実を図り、コンプライアンスの推進と、リスクマネジメントの意識を培う。	[企画広報課] 1) 情報セキュリティ研修を含め、年5回以上の注意喚起を行う。 [コンプライアンス委員会] 1) 会議や朝礼で年間15回以上の啓発・研修を行う。 2) コンプライアンスに関する相談体制を確立・周知する。 3) リスクに対する危機管理体制(報告・連絡・相談)を確立し周知する。 [教育相談] 1) 特別支援の対象生徒について、校内共通理解を図る。 2) 心配な生徒についての校内での共通理解を図る。教員の評価A [保健厚生課] 1) 教職員対象の救急救命講習会を年1回実施。	[企画広報課] 研修会を2回、危険メールへの対処法やサーバ停止の連絡を8回行った。 [コンプライアンス委員会] 職員朝会等を利用しての啓発の機会を増やし、意識を向上させることができた。 [教育相談] 1) 学年主任との情報交換会を実施し、共通理解を図った。 2) 学年主任との情報交換会で共通理解を図った。 [保健厚生課] 1) 講習会を1回実施。	総合評価・所見 特になし
	次年度への課題と改善方策 [企画広報課] 計画的にセキュリティに関する情報を提供できる仕組みを考えたい。 [コンプライアンス委員会] 法令・規則や教職員倫理に基づいた職務に専念できる環境づくりを推進する。 [教育相談] 教員向けの教育相談研修の時期など考え直したい。不登校認定の制度について考えたい。 [保健厚生課] 来年度も全員の先生の受講をめざす。			
	下位組織レベル	活動計画	活動計画の実施状況	
	[企画広報課] 職員のセキュリティ意識の向上 [コンプライアンス委員会] 1) 職員研修の充実・徹底 2) 職員間の情報交換を密にし円滑なコミュニケーションが図れる職場環境作り 3) 危機管理体制の確立と周知 [教育相談課] 1) 特別支援を要する生徒、学校生活が困難な生徒へのケアの確立。 [保健厚生課] 1) 教職員対象の救急救命講習会の充実	[企画広報課] 1) 各学期、2回程度の注意喚起を行う。 [コンプライアンス委員会] 1) 年間2回以上の推進機関及び随時適切な機会を設けてた研修や啓発を図る。 2) 相談体制を整えて学校全体でのサポート体制を作る。 3) 具体的事例に基づく研修を行う。 [教育相談課] 1) 教育相談研修を年1回。 2) 不登校認定の依頼があった場合、特別支援教育委員会を開く。 [保健厚生課] 1) 救急救命講習会を1学期に実施。	[企画広報課] 1, 2学期は研修会を1回ずつ実施。他にセンター等からの情報を周知した。 [コンプライアンス委員会] 職朝連絡を多用し日常的に法令遵守を身近にすることができた。 [教育相談] 1) 研修「セクシャルマイノリティの生徒を理解する」を実施。 2) 委員会を開催。サポート体制を維持できた。 [保健厚生課] 1) 5月、徳島東消防署救助救命係を講師にAEDを用いた心肺蘇生法講習会を実施。	総合評価・所見 [企画広報課] 評価A 予定通り実施。

平成27年度 徳島県立城北高等学校 学校評価 総括評価表8

重点課題	重点目標 全校レベル	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見
		評価指標と活動計画 評価指標	評価 評価指標による達成度	
学校外との交流・連携やHPによる広報活動のさらなる活性化とボランティア活動を支援する校内組織づくりの推進	8 開かれた学校づくりの推進 ・学校評価を充実させ、保護者や地域から信頼される開かれた学校を目指す。	[学校評価委員会] 1) 保護者学校評価アンケートの回収率75%以上。 [総務課] 1) 各種PTA活動を活性化、広報活動の充実。 2) 円滑な業務遂行。 [特別活動課] 1) ボランティア活動へ延べ100名以上参加。 [企画広報課] 1) ホームページを月15回以上更新。 [国際交流課] 1) 各課・各科との円滑な連携による、交流事業の成功。	[学校評価委員会] 1) 回収率75.5%。 [総務課] 1) 活動に保護者の意見を取り入れ改善した。 2) 円滑に実施できた。 [特別活動課] 1) のべ223名参加。 [企画広報課] 1) ほぼ毎日更新を行った。 [国際交流課] 1) 日独交流は各課の協力で訪問団に満足してもらえた。	総合評価・所見 [学校評価委員会] 評価B 回収率が伸びなかった。評価目標の見直しを行った。 [総務課] 評価B 会議回数や出席率は昨年とほぼ同じ。 [企画広報課] 評価A 目標を上回る情報提供ができ、ホームページ閲覧者数も大幅に増加した。 [特別活動課] 評価A 目標を上回ることができた。 [国際交流課] 評価A 計画通りに実施することができ、また次年度への改善点も見つけることができた。
	次年度への課題と改善方策 [学校評価委員会] 実情に対応した評価の在り方を、簡略化もふくめて検討する。 [総務課] 案内が確実に届くようにする。 [特別活動課] 参加を呼びかけて行きたい。 [企画広報課] 保護者の方に繰り返しホームページを見ていただけるような工夫を行う。 [国際交流課] 予算減額時を考慮し、複数の交流内容試案が必要である。			
	下位組織レベル	活動計画	活動計画の実施状況	
	[学校評価委員会] 1) 学校評価を充実させ、次年度の更なる改善に役立てる。 [総務課] 1) PTA活動における各種連絡調整や企画提案を行う。 2) 城北祭や卒業式での渉外業務を行う。 [企画広報課] 1) ホームページの更新を部顧問や課長を支援し、より早く情報の提供を行う。 [特別活動課] 1) 全校生及び教職員にボランティア活動への参加を積極的に呼びかける。 [国際交流課] 1) 各種国際交流関係の広報や連絡調整にあたる。	[学校評価委員会] 1) アンケートの見直しを行った。 [総務課] 1) 4月理事会、5月総会、理事会、1月第3学年部会 2) 9月文化祭、体育祭、3月卒業式 [企画広報課] 詳細な情報を素早く更新できた。 [特別活動課] 1) 223名が参加。 [国際交流課] 1) 関係文書はすべて適切に連絡できた。		